

材料システム工学科の紹介

教育目的

ものづくりの基礎となる工業材料の開発・設計・製造から利用、その後の寿命による破壊、リサイクルまでの材料に関する一連の専門知識を身につけ、社会の発展に貢献できる技術者を育成する。

材料システム工学科とはこんなところです

材料の開発・設計・製造から、その後の環境対策(破壊・腐食)や再利用までを『システム』として幅広く学びます!

Only One and No.1 !!

材料システム工学科で学問しよう(-)!!
材料の楽しさを深く、深く、もっと深く学べます!

- 金属・セラミックス・プラスチック
- 性質・構造
- 設計・製造・リサイクル
- 分析・評価・解析技術 など

こんな人は材料システム工学科へ!!

- 航空・宇宙材料・自動車材料・生体材料・センサー材料に興味がある。
- エネルギー材料・エレクトロニクス材料に詳しくなりたい!
- 都市鉱山やリサイクル技術を知りたい!
- ナノ・ミクロの世界をのぞいてみたい!

新しい材料の開発によって実現したもの



青色LED



リニアモーターカー



水素自動車



太陽電池



スマートフォン



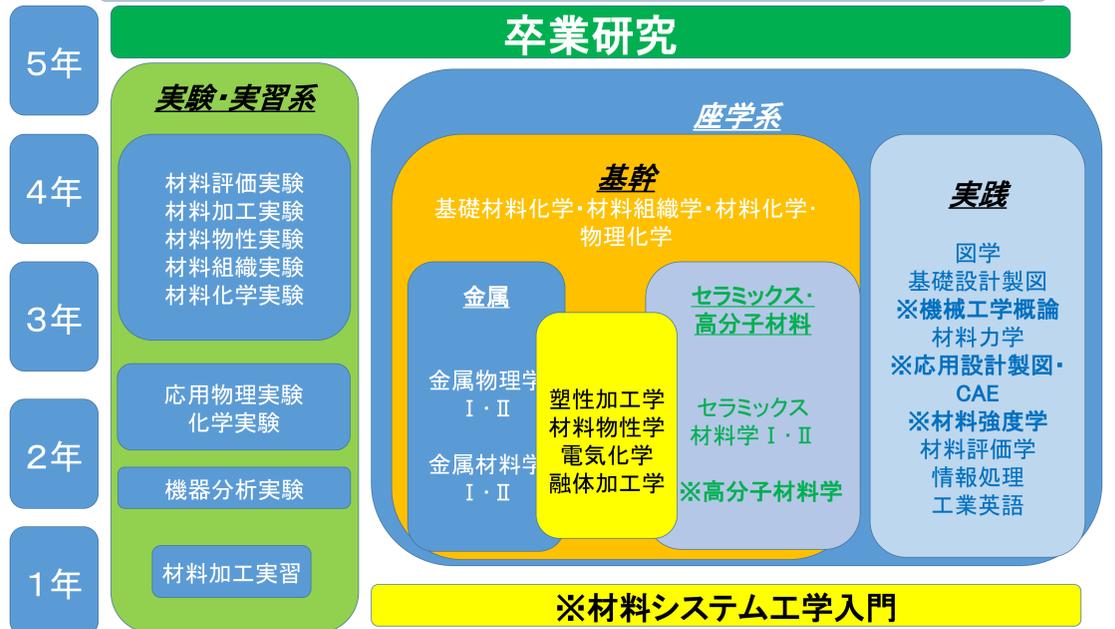
H-IIAロケット

信号機や照明器具で有名なLEDは窒素とガリウムの化合物。LSIや太陽電池にはシリコン。自動車や船、航空機に使われる鉄・アルミニウム。

超電導リニアやH-IIAロケットに使われた材料って、何でできているだろう? 材料には夢があふれているね!

材料システム工学科で学習する科目

材料システム工学科 本科 専門科目の流れ



授業風景



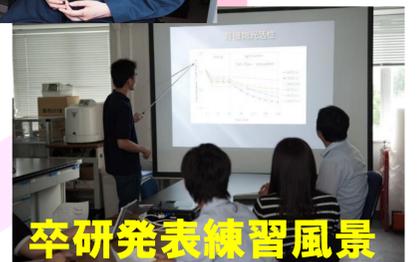
情報処理の授業



卒業研究

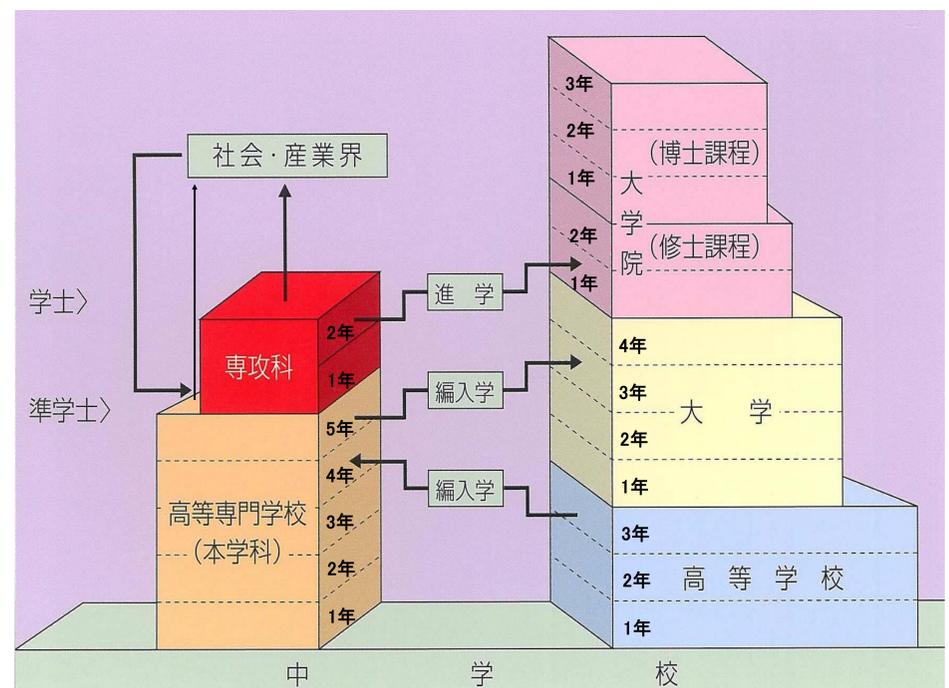


電子ビームで調べる!



卒研発表練習風景

卒業後の進路





材料システム工学科の進路

最近10年間の本科卒業生の就職と進学割合

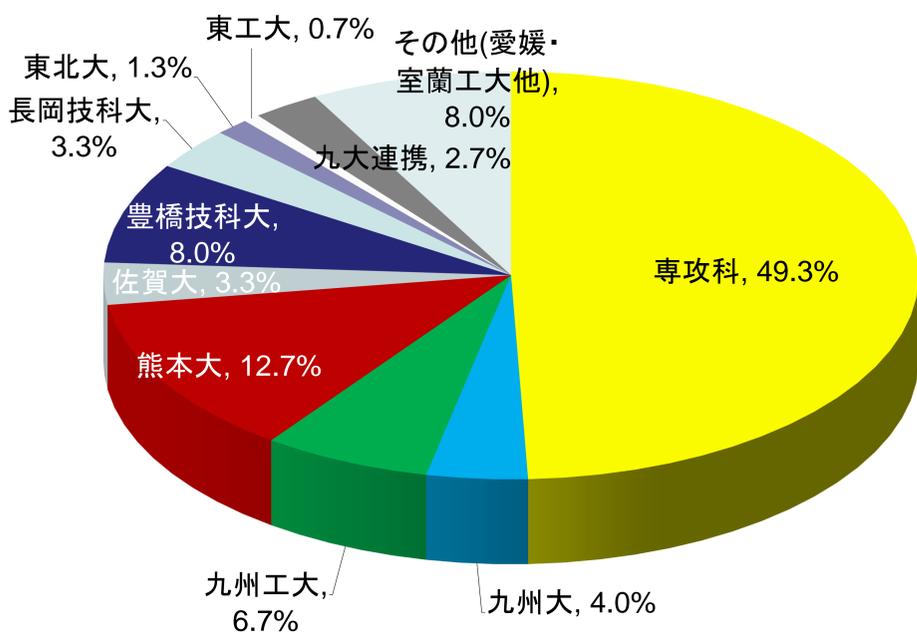
年度	卒業生数(名)	就職者数(名)	就職者割合	進学者数(名)		進学者割合(含専攻科)	左記以外(法人・専門学校他)
				大学	専攻科		
H26	37	22	59%	6	7	35%	5%
H27	36	22	61%	8	6	39%	0%
H28	38	23	61%	5	8	34%	5%
H29	35	20	57%	6	7	37%	6%
H30	36	20	56%	7	8	42%	3%
R1	37	21	57%	9	6	41%	3%
R2	37	18	49%	9	9	49%	3%
R3	35	20	57%	7	7	40%	3%
R4	40	19	48%	12	8	50%	3%
R5	37	21	57%	8	8	43%	0%

最近10年間の本科卒業生の進学先

学校名	人数
久留米高専 専攻科	79
九州大学	8
熊本大学	22
九州工業大学	11
長岡技術科学大学	7
豊橋技術科学大学	14
東京工業大学	1
東北大学	2
佐賀大学	6
愛媛大学	4
室蘭工業大学、専門学校	2
茨城大学、滋賀大学、富山大学、信州大学、千葉大学、大阪府立大	各 1

就職:進学 = 6:4程度(年度によって異なります)

H26~R4年度の進学先 (順不同・敬称略)



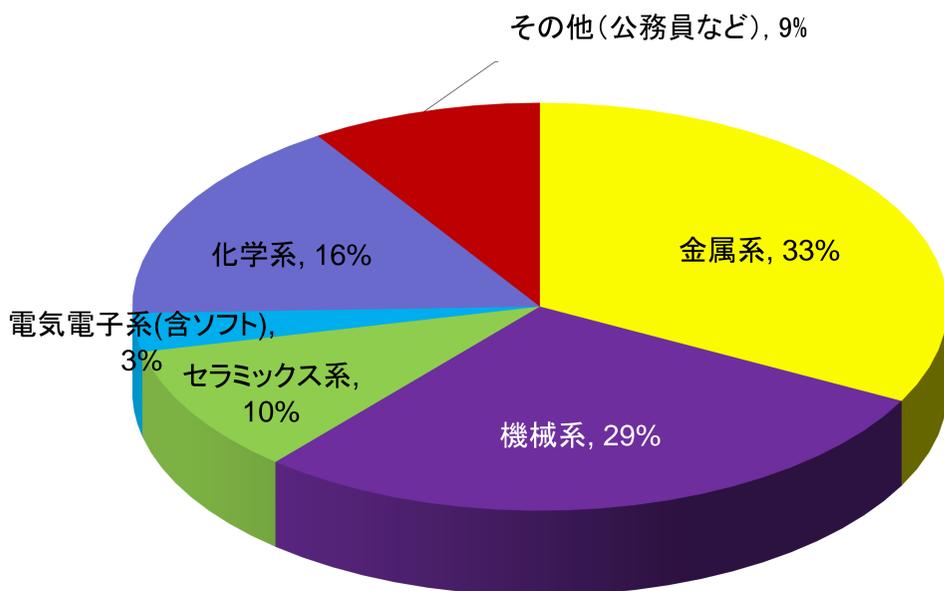
九州内の大学(専攻科を含む)への進学率: 約75%

本科生の主要な就職先(最近5年間)

日本製鉄、日産自動車、SUBARU、ヤマハ発動機、東レ、ダイキン、DOWAサーモテック、高周波熱錬、LIXIL、日本精工、アレスティ、NOK、田中貴金属、日清紡ブレーキ、JX金属、大日精化工業、東洋鋼鈑、ジェイテクト、フルヤ金属、国立印刷局

パンパシフィックカッパー、日本タングステン、東洋製罐基山工場、三井金属鉱業、日本精工九州、昭栄化学工業、第一精工、東プレ九州、佐賀鉄工所、アスカコーポレーション、ヒノデホールディングス

最近5年間の本科卒業生の就職分野



敬称略、順不同

材料システム工学科に関する情報

<http://www.kurume-nct.ac.jp/faculty/material>

